

事業番号	09 03 04	事業改善シート (31年度実施事業分)	□当初要求	■当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	農業改良普及事業	部局	農政部	課・室	農業技術課	
		実施期間	S23 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進 3-7 先端技術の積極的な活用・導入					

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○農業者に直接接し、新品種・新技術の実証展示ほを活用した生産指導や経営改善指導等に関する普及活動を通じて、自主的に課題解決できる農業者を育成し、農業・農村の持続的な発展を図っている。 ○人・農地プランづくりや農業の6次産業化支援等、地域の新たな課題の解決に向けた普及活動を実施している。 ○食品企業等の実需者ニーズを的確に把握した契約取引を行う新たな産地づくりを推進するなど、時代の変化に対応した普及活動を展開し、農業者の所得向上を図っている。					31年度 予算額	71,927 千円						
	○食品企業等の実需者ニーズを的確に把握した契約取引を行う新たな産地づくりを推進するなど、時代の変化に対応した普及活動を展開し、農業者の所得向上を図っている。					職員数	188.00 人						
目指す姿	○高度化する農業技術や環境と調和のとれた農業生産、多様化する流通・消費形態、高度情報化等に対応した農業経営者が地域で活躍するとともに、農業・農村を担う組織づくりがなされ、地域農業の振興と活性化が図られている。 ○食品産業界が求める農産物を生産し契約取引を行う農業者が増加し、産地が育成され、農家所得の向上が図られている。  (主な実施内容: 県と国とが協同した農業改良普及事業の実施)												
事業 コスト	区分(単位:千円)	29年度	30年度	31要求	31予算案	指標及びその達成状況							
	前年度繰越					No	成果指標	29年度末	30年度末 (見込)	31年度			
	当初予算	60,257	64,410	78,932	71,927					目標値	成果	達成状況	
	補正予算					①	指標平均進捗率(%) (県食農計画の指標のうち、普及事業に係る4項目及び普及活動重点課題の7項目、計11項目の平均)	90.6 (旧計画)	90	90			
	合計(A)	60,257	64,410	78,932	71,927								
	Aの 財源	一般財源	32,206	36,401	50,082	38,462	②	<11項目の主な指標1> 新規就農者数(名)	211	211	250		
		県債											
		国庫支出金	27,219	27,219	28,060	32,675	③	<11項目の主な指標2> 1等米比率(%)	98	98	98		
	その他	832	790	790	790								
	決算額(B)	53,038				④	<11項目の主な指標3> 県オリジナル果樹品種の栽培面積(ha)	-	125	159			
概算 人件 費	職員数(人)	189.00	188.00	188.00	188.00	⑤	新規契約取引成約件数(件)	86	70	70			
	概算人件費(C)	1,531,278	1,523,176	1,523,176	1,523,176								
概算事業費(B(A)+C)	1,584,316	1,587,586	1,602,108	1,595,103									
成果指標 設定理由	①第3期食農計画の目標達成に向けて、普及センターが重点的に取り組む指標の平均進捗率を指標として設定。 ②～④ ①のうち、普及活動での重要度が高い新規就農者数の確保(第3期食農計画の達成指標数値)、1等米比率全国トップクラスの維持、県果樹試験場開発のオリジナル品種(シナノリップ、クイーンルージュ)の面積拡大を指標として設定。 ⑤契約取引を行う新たな産地づくりを進めるため、新規契約取引成約件数を指標として設定。												

指摘事項等への対応	指摘事項・意見	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業改良普及運営費について、事務用パソコン賃借料の計上方法変更に伴い、経費を減額</li> <li>・農業改良普及事業費のうちスマート農業導入推進事業について、職員用タブレット端末等の配置数を見直し経費を減額するとともに、スマート農業導入加速化事業について、お試し導入用機器の購入台数を見直し経費を減額</li> </ul>
--------------	--

### 2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	細事業名	31年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	30年度 (当初)	31年度	
					(要求)	(予算案)
1	農業改良普及運営費	・県下10所の農業改良普及センターに普及指導員を配置して地域における課題を解決するため、普及活動を展開する。	188.00	50,988	49,651	49,055
2	農業改良普及事業費	・担い手の育成・確保や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、農業者の経営改善など、協同農業普及事業の実施に関する指針に基づいた普及活動を展開する。 ・農業機械メーカーの協力等によりスマート農業技術の導入支援や農業者や指導者を対象とした研修会の開催及びJA等の関係機関と連携した指導体制の整備を図り、本県農業のスマート化を加速する。	兼務	12,632	28,491	22,082
3	中山間地域農産物橋渡し支援事業	・契約取引を志向する農業者等を対象とした農産物取引等に関する基礎知識習得研修会等を開催する。 ・契約栽培を開始する上で必要となる、伝統野菜、新品目・新品種等の栽培技術指導及び食品産業事業者と農業者の交流会を開催する。	兼務	790	790	790
合計			188.00	64,410	78,932	71,927

